



KYOTO NATIONAL MUSEUM

2024 April to June vol. 222

京都国立博物館

だより

二〇二四年
四・五・六月号



特別展

雪舟伝説

「画聖」の誕生

豊臣秀次公四三〇回忌 特集展示

修理完成記念 特別公開

重要文化財 縹糸威胴丸

重要文化財 縹糸威胴丸

【特別展】

雪舟伝説——「画聖」の誕生——

カリスマ

令和6年4月13日(土)～5月26日(日)

【主な展示替】

前期展示：4月13日(土)～5月6日(月・休)

後期展示：5月6日(水)～5月26日(日)

※会期中、一部の作品は右記以外にも展示替を行います。

【平成知新館】

日本美術史上もっとも重要な画家の一人とされる雪舟(一四二〇～一五〇六?)。六件もの作品が国宝に指定されていることが象徴的に示しているように、雪舟に対する現在の評価は突出したものがありません。しかし、それは単純に作品が優れているという理由だけによるものではありません。雪舟とその作品に対し、歴史的に積み重ねられてきた評価の上に、今日の高い評価があるのです。

本展では、主に近世における雪舟受容の横相をたどることで、「画聖」と仰がれる雪舟への評価がいかにして形成されてきたのかを検証します。桃山時代に雪舟の後継者を自称した雲谷派と長谷川派、雪舟画風を流派様式の礎とした江戸時代の狩野派はもとより、これら漢画系の画家とは異なる実にもさまざまな画家たちが雪舟を慕い、その作品に学びながら、新しい絵画世界を切り開いていきました。

尾形光琳や伊藤若冲、曾我蕭白をはじめ、登場する画家たちは総勢三十名以上。時代を超え地域を超え、雪舟から何がしかを学ばんとする眼差しは、近世を通じて途切れることなく続いてきたのです。たとえるなら、雪舟をキーワードに近世絵画史という地層を縦に切ったとしたら、その断面にはどんな模様が現れるのだろうか。そんな関心から、この特別展は企画されました。

展覧会は、まず雪舟の代表作と呼ばれる名品の数々で幕を開けます。「秋冬山水図」は、日本史の教科書にも頻りに登場する、もっとも馴染み深い雪舟作品のひとつでしょう。長さ十六メートルにおよぶ「四季山水図巻(山水長巻)」は、名勝天橋立をまるで見下ろすような視点でとらえる「天橋立図」など、雪舟の国宝六件すべてが、会期中全期間を通して集結します。こうした作品の数々を通して、雪舟がどのような絵を描いた人だったのかを、雪舟の「画聖」としての地位を築いたこと、それゆえに雪舟の後継者を名乗ることが社会的権威として機能したことを示しています。

そして、十七世紀後半以降になると、雪舟受容はますます多様化の様相を見せます。新しく日本に入ってきたタイプの中国絵画に関心を寄せた気鋭の画家や、油絵を手掛けるほどに西洋絵画に傾倒した画家など、一見雪舟とは無縁に思える進取の気質をもった画家たちが、一方では雪舟を学んでいるというように、雪舟を受容する画家が多様化するとともに、その受容の仕方が多様化していくのです。さらに、模本を通して見えてくる雪舟作品の流通状況や、出版物を通して雪舟に関する情報が伝播していく様相についても注目します。

一口に雪舟受容といってもそれ自体複雑な性質を孕み、多角的に把握すべきものです。国宝七件、重要文化財十五件を含む、約九十件の作品を通して、「画聖」雪舟誕生の過程を明らかにすることを目指します。(福士雄也)

◆雪舟ってどんな人?

雪舟(一四二〇～一五〇六?)は、備中国赤浜(現在の岡山県総社市)に生まれた人です。幼い頃に上洛して相国寺に入り、禅僧としての修行を積むかたわら、室町幕府御用絵師であった周文に画を学びました。

やがて周防(現在の山口県)に下り大内氏の庇護を得ると、応仁元年(一四六七)には遣明使節の一員に加わり入明を果たしています。足掛け三年に及ぶ在明のち帰国したあとは、はじめ豊後(現在の大分県)、のち再び周防を主な拠点としながら旅を重ね、宋元画を学んだ幅広い画風と骨太で力強い筆墨に特色ある作品を残しました。



探幽繪圖 雪舟筆自画像模本 狩野探幽筆 江戸時代 寛文2年(1662) 京都国立博物館(通期展示)

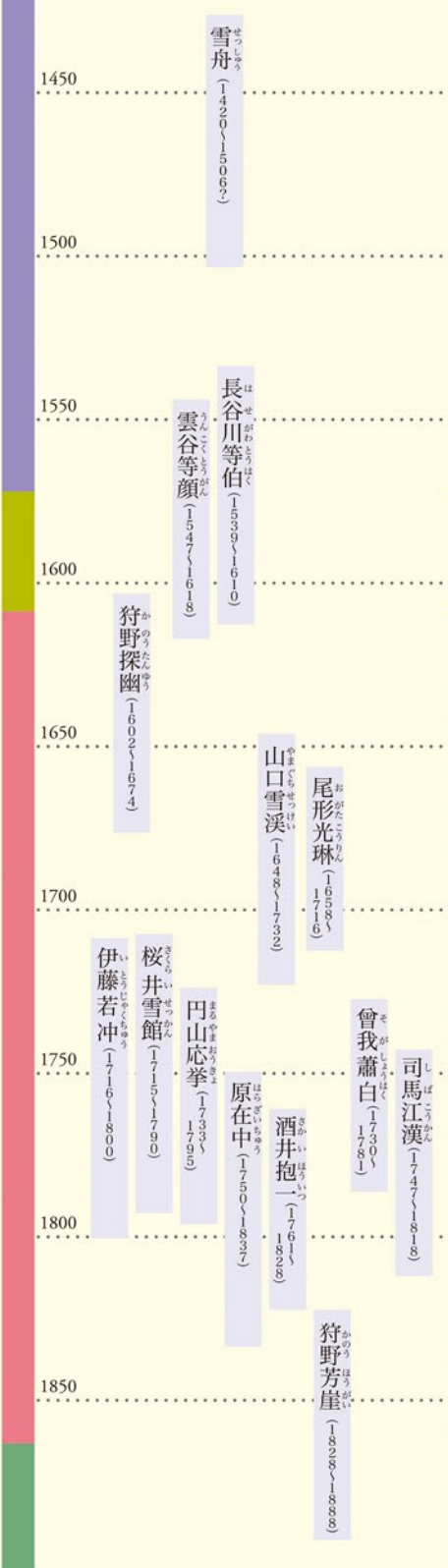
関連画家年表

室町時代

桃山時代

江戸時代

明治時代



重要文化財 四季花鳥図屏風(右隻) 雪舟筆 室町時代 15世紀 京都国立博物館(通期展示)

国宝 秋冬山水図 雪舟筆 室町時代 15世紀 東京国立博物館(通期展示)



国宝 四季山水図巻(山水長巻)(部分) 雪舟筆 室町時代 文明18年(1486) 山口・毛利博物館(通期展示、巻替あり)



竹林七賢図屏風(右隻) 長谷川等伯筆 桃山時代 慶長12年(1607) 京都・両足院(通期展示)



重要文化財 山水図横 雲谷等顔筆 桃山時代 16～17世紀 京都・黄梅院(通期展示)



竹梅双鶴図 伊藤若冲筆 江戸時代 18世紀 東京・出光美術館(4月30日～5月26日展示)



富士三保清見寺図 伝雪舟筆 室町時代 16世紀 東京・永青文庫(通期展示)



山水図屏風(左隻) 狩野探幽筆 江戸時代 17世紀 京都・長福寺(通期展示)



富士三保図屏風(左隻) 曾我蕭白筆 江戸時代 18世紀 滋賀・MIHO MUSEUM(通期展示)

◆「画聖」としての雪舟

雪舟は、六件もの作品が国宝に指定されています。これは、狩野永徳の四件を凌ぎ、一人の画家としては最も多い指定件数です。雪舟に対する評価が、いかに突出したものであるかがわかります。

少年時代に寺で叱られた雪舟が、「涙でネスミの絵を描いた」という有名なエピソードは、江戸時代に語られるようになり、巨匠につきもの天才伝説の類と思われがちですが、それだけ偉大な存在と認識されていたことの証と言えます。

一九五五年にウイーンで開催された世界平和評議大会において、雪舟が世界十大文化人の一人に選ばれました。他はレンブラント、モーツァルト、ドストエフスキーなど。没後四五〇年を経て、雪舟はついに「世界の雪舟」となったのです。

平成知新館 名品ギャラリー

- 3F-1 陶磁
- 【茶の湯の道具 茶人】
- 6月25日(火)～9月8日(日)
- ※6月18日(火)から6月23日(日)は閉室。
- 3F-2 考古
- 【墳輪の人物と動物】
- 6月25日(火)～9月8日(日)
- ※6月18日(火)から6月23日(日)は閉室。
- 2F-1 絵巻
- 【国宝 法然上人絵伝】
- 6月18日(火)～7月28日(日)

【豊臣秀次公四三〇回忌 特集展示】

豊臣秀次と 瑞泉寺

6月18日(火)～8月4日(日)
【平成知新館1F-2】4

豊臣秀次(一五六八～九五)は、天下人・豊臣秀吉の姉の子として生まれました。秀吉の後継者として華々しい出世を遂げ、関白の位にまで上り詰めましたが、秀吉に待望の実子が誕生すると次第に両者の関係は疎遠になり、ついには謀反の疑いをかけられ、高野山で切腹して果てました。秀次の自刃については、近年、秀吉が下した命令によるものではなく、秀次が自らの潔白を証するために取った行動だったとの説も唱えられています。その災禍は妻子にも及び、三十九名が三条河原で公開処刑されたと伝えられます。処刑跡地には、秀次の首を納めた石櫃を頂上に置く塚が築かれ、心ない人は畜生塚と蔑称しました。

三条大橋のたもとに所在する慈舟山瑞泉寺は、慶長十六年(一六一一)、高瀬川を開削していた角倉了以が、鴨川の氾濫によって荒廃していたこの塚を見つけて再整備し、秀次一族の菩提を弔うために、この塚の位置に建てた寺です。その縁から、瑞泉寺には秀次一族に関わる品々が寄進されました。

本展では、秀次の生涯と瑞泉寺開創の経緯を濃彩で描く「秀次公縁起」、秀次と刑死した妻妾らを描く三幅の集団肖像画、処刑の前に妻妾たちが詠んだ辞世の和歌を記す二十幅の掛軸など、秀次とこの事件にまつわ

る作品を一堂に展示します。瑞泉寺の掛軸は美しい小袖裂を用いた表装でも名高いものです。作品のみならず、周囲を飾る表具裂の取り合わせにもご注目ください。

江戸時代に成立した『太閤記』などにおいては、非人道的なふるまいから「殺生関白」ともあだ名されるなど、残忍な人物として記述される秀次ですが、キリスト教の宣教師として来日し秀次を見知っていたルイス・フロイスは、秀次を思慮深い人と評価しています。また、古典籍を集め、古筆を尊ぶ文化人であったことも、同時代史料からうかがい知ることができます。

秀次の四三〇回忌にあたる当年、瑞泉寺が所蔵する作品を通して秀次とその一族を偲ぶとともに、瑞泉寺の寺宝を紹介します。(山川 曉)



一の臺 辞世和歌 京都・瑞泉寺



秀次公縁起(部分) 京都・瑞泉寺

2F-2 仏画

【日本の羅漢図】

6月18日(火)～7月28日(日)

2F-3 中世絵画

【関東水墨画I】

6月18日(火)～7月28日(日)

2F-4 近世絵画

【京都の狩野派―狩野山雪―】

6月18日(火)～7月28日(日)

2F-4 中国絵画

【来船清人の絵画】

6月18日(火)～7月28日(日)

1F-1 彫刻

【如来と菩薩】

6月18日(火)～9月8日(日)

1F-2～4

【豊臣秀次公四三〇回忌

特集展示 豊臣秀次と瑞泉寺】

6月18日(火)～8月4日(日)

1F-5 金工

【修理完成記念 特別公開

重要文化財 縹糸威胴丸】

6月18日(火)～8月4日(日)

【文化財修理の最先端 金属工芸】

6月18日(火)～8月4日(日)

1F-6 漆工

【神々と人々の飲食器】

6月18日(火)～7月28日(日)

【修理完成記念 特別公開】

重要文化財 縹糸威胴丸

6月18日(火)～8月4日(日)

【平成知新館1F-5】

中世に用いられた「甲冑」のうち、胴体を覆う「胴」の部分が一連の構造で、人体をぐるりと包み込むように装着し、最後に右脇側で引き合わせる形状のものを「胴丸」と呼びます。本品は那須与一で有名な那須家に伝来し、その優美な色彩と古様な作行から古来優品として名高く、江戸時代の古器物図録である『集古十種』にも所載された胴丸の代表作です。

胴丸はもともと平安時代から鎌倉時代にかけて馬に騎乗する上級武士が装着した「鎧」(大鎧)の簡略版として、従卒のような下級武士が用いてきました。彼らは徒歩で騎馬武者に随伴する存在だったため、軽量化のためにも胴丸は胴本体部分のみで構成され、歩きやすいように腰から下の部位を守るスカート状の「草摺」が鎧よりも多分割されています。後にその軽量さと機動性の高さから騎馬で戦う上級武士達にも胴丸は使われるようになり、鎧と同様に兜や大袖が付属して豪華な仕立になりました。この甲冑も那須家の当主が装着した胴丸にふさわしく、兜と大袖が付属するところが特徴です。

本品は、日本の甲冑を代表するものの一つとして、アメリカや国内の展覧会に多く出陳される一方で、専門家の間ではその状態の悪さが懸念されていました。このたびはバンク・オブ・アメリカの文化財保護プロジェクトから助成を受けたことで、金工・漆工・染織そして甲冑修理の各工人をまたぐ修理計画を実現することが出来ました。令和五年三月にこの貴重な甲冑の修理が完了しましたので、これを記念して特別公開を行います。

(末兼俊彦)



重要文化財 縹糸威胴丸 京都国立博物館



『集古十種』(部分) (出典：国立国会図書館ウェブサイト)
※『集古十種』の展示はありません。

【ミュージアムパートナー一覧】 ※令和6年3月末現在

京都国立博物館の賛助会員制度です。当館の活動について幅広くご支援いただいています。

【ゴールド】土屋 和之

株式会社 SOFEMZ ホールディングス

株式会社 俄 / ZSS&YA 株式会社

【シルバー】学校法人 二本松学院

東レエンジニアリング株式会社

【ブロンズ】原田清朗

【キャンパスメンバーズ】

※令和6年3月末現在

「京都国立博物館キャンパスメンバーズ」は、国立博物館と大学等との連携を図り、博物館が所蔵する文化財を核として文化や歴史を共に学ぶ場を提供する会員制度です。会員である大学や専修学校の学生および教職員の皆様には、当館名品ギャラリーを無料で観覧いただける機会などさまざまな特典を提供しています。

学校法人 瓜生山学園 / 追手門学院大学 /

国立大学法人 大阪大学 / 大阪大谷大学 /

大谷大学 / 学校法人 大手前学園 /

学校法人 関西大学 / 学校法人 関西学院 /

国立大学法人 京都大学 /

学校法人 京都外国語大学 /

国立大学法人 京都工芸繊維大学 /

学校法人 京都産業大学 /

学校法人 京都女子学園 / 京都市立芸術大学 /

京都精華大学 / 京都先端科学大学 / 京都橘大学 /

京都府立大学 / 近畿大学 / 四天王寺大学 /

就実大学 / 成安造形大学 / 学校法人 大覚寺学園 /

帝塚山大学 / 学校法人 同志社 / 奈良大学 /

奈良女子大学 /

国立大学法人 奈良先端科学技術大学院大学 /

学校法人 二本松学院 / 花園大学 / 佛教大学 /

学校法人 立命館 / 龍谷大学

◆寄附

京都国立博物館では文化財とそれを守り伝えてきた先人の想いを次の1000年へと繋いでいくため、広く寄附を募っております。このたび、左記の方より寄附をいただきました。寄附の趣旨を踏まえ、大切に活用させていただきます。

伊丹 玲於奈 様

永遠ではないもの

京都国立博物館主任研究員 井並林太郎

二〇二一年に祖母が一〇〇歳で亡くなり、その葬式で「大往生と言う人もいるが、もつと生きてほしかった」と口にした祖父も、昨年九月に九八年の生涯を閉じた。九十何歳のときだったか、長生きの秘訣を「執念」と言い表した祖母だったが、後に「もうおしまい」など弱気な発言が目立つようになった。最晩年まで旺盛な食欲を誇った祖父も、物を十分呑みこめなくなつてから一気に衰弱した。

ここ数年はコロナ禍、戦禍に、テレビで観ていた人やずっと聴いていた歌手が突然いなくなる知らせもよく届き、悲しい気持ちや無力感に襲われることが多い。今年は元日から震災もあつて、当たり前前に続くと思つていたものがぐらぐらと揺らぐ感覚が、もちろん当事者の方々には及ばないのだろうが、より切実に迫る。親しんだ風景や価値観の移ろい、時の変化の追いつけない速さには、感傷どころか多少うんざりしている。

ただ、特別展をかかえて目の前の日々が忙しいということ、博物館の仕事では何十年、何百年というスケールで過去や未来の人やモノについてよく考えるということが、自分にとつてはひとまず辛いである。

今年法然が浄土宗を開いたとされる承安五年（一一七五）から数えて八五〇年ということで、東京から始まる巡回展「法然と極楽浄土」が当館でも開催される。平安時代末期、仏道を十分に修められないことに二十年以上悩んでいた法然は、この年のある日、経蔵で開いた善導の『観経疏』の一節から、誰もが可能な称名念仏こそ阿弥陀仏が選んだ本願の行であるという確信を得て、進む道を定めたという。

法然の専修念仏は、末法という困難な時代に生きる人々に広く迎えられる、その後の日本仏教を大きく様変わりさせた。この文章を書いているのは図録原稿がひと段落したタイミングだが、「困難な時代」とはどういうことだったのか、なぜ専修念仏の教えが多くの人に受け入れられたのか、文章では何度も説明されていることであるが、今の時代にひきつけて思いを巡らせることが何度もあつた。答えが言語化できただけではなく、特に解説や総論に直接反映されてもいないが、少しでも実感に近づくことが必要だとは考えていた。

法然の弟子の親鸞も、六角堂で救世観音から煩惱にかかわる夢告を受け、その思想に方向性を得て、阿弥陀仏による救済の教えを人々に弘めていく。苦悩の果てに一種の真理や啓示にたどり着くのはどの宗教者も同じであるが、法然も親鸞も、仏法の退廃した時代に愚かな凡夫である自己や他者にどう向き合うかという点が際立っており、その過程には等身大の手触りがある。

東日本大震災の起きた二〇一一年も、法然、親鸞の大きな展覧会が東京や京都で開かれた。東京国立博物館の「法然と親鸞 ゆかりの名宝」展のチラシには、阿弥陀聖衆が花咲く山を越え死にゆく人のもとへ迅雲に乗り駆けつける「早来迎」（知恩院蔵）が大きく配され、そこに記された「誰をも忘れないという想い。」というコピーが多くの人の心を打つたという。かつて死と救済に直結して作られた来迎図は、何百年後の現代においてもその意義を失っていない。

講座・イベント

《特別展「雪舟伝説―「画聖」の誕生―」記念講演会》

4月13日(土)「誰が雪舟を画聖にして来た(いる)のか？」

花園大学文学部教授 福島恒徳氏

4月20日(土)「どうして雪舟!？」

文化庁主任文化財調査官 綿田 稔氏

4月27日(土)「浮世絵に流れる雪舟DNA」

十文字学園女子大学教育人文学部教授 樋口一貴氏

5月11日(土)「雪舟伝説前史―戦国社会における雪舟流」

京都国立博物館研究員 森 道彦

5月18日(土)「雪舟的なもののゆくえ」

京都国立博物館主任研究員 福士雄也

※平成知新館 講堂にて13時30分～15時に開催。定員200名、聴講無料(ただし当日の特別展観覧券が必要)。

※当日9時より、平成知新館1階インフォメーションにてお一人様1枚ずつ整理券を配布し、定員になり次第配布を終了します。

《土曜講座》

6月22日(土)「金属工芸の修理―重要文化財 縹系威胴丸の修理―」

京都国立博物館主任研究員 末兼俊彦

6月29日(土)「博物館の舞台裏シリーズ② 文化財写真の撮影」

京都国立博物館写真技師 岡田 愛 × 京都国立博物館教育室長 大原嘉豊

※平成知新館 講堂にて13時30分～15時に開催。定員200名、聴講無料(ただし当日の観覧券が必要)。

※当日9時30分より、平成知新館1階インフォメーションにてお一人様1枚ずつ整理券を配布し、定員になり次第配布を終了します。

《特別展「雪舟伝説―「画聖」の誕生―」キャンパスメンバーズ講演会》

【講師】福士雄也(京都国立博物館主任研究員)

【日時】4月21日(日)13～14時 【会場】平成知新館 講堂

【参加方法】4月18日(木)までにウェブサイトよりお申し込みください。

https://www.kyohaku.go.jp/jp/events/event/20240421_campus-lec/

《令和6年度夏期講座のお知らせ》

【テーマ】変革の時代―16世紀

【開講日】7月26日(金)・27日(土) *1日3講座、計6講座

【会場】平成知新館 講堂

【定員】200名

【聴講料】3000円(税込)

【申込方法】往復はがきに住所・氏名・年齢・電話番号を明記の上、京都国立博物館「夏期講座」係(〒605-0931 京都市東山区茶屋町527)までお申し込みください。

※講師・演題は後日ウェブサイトに掲載いたします。お申込は6月20日(木)(消印有効)までです。

これからの展覧会

◆上田コレクション収蔵記念 特集展示 密教図像の美

8月7日(水)～9月8日(日)

◆特別展 法然と極楽浄土

10月8日(火)～12月1日(日)

展覧会やイベントの中止や延期、会期や展示期間の変更などを行う場合がありますので、最新情報については、当館ウェブサイト等をご確認くださいませよう願います。

公式サイト

<https://www.kyohaku.go.jp/>

X(旧Twitter)・Instagram

@KyotoNatMuseum

公式キャラクター・トラりんサイト

<https://www.kyohaku.go.jp/jp/torarin/>



◇名品ギャラリーの休止予定

特別展とその前後を含めた期間は、展示作業等のため、名品ギャラリーを休止しております。ご来館の皆様にはご不便をおかけいたしますが、ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

名品ギャラリー 休止期間：3月26日(火)～4月11日(木)

5月28日(火)～6月16日(日)

※上記期間中は庭園のみ開館となります。

ご利用案内

【開館時間】<3月26日～4月11日><5月28日～9月8日>

9:30～17:00 *金曜日は20:00まで開館

<4月13日～5月26日>

9:00～17:30

*入館は各閉館の30分前まで

【観覧料】【特別展「雪舟伝説―「画聖」の誕生―」

<4月13日～5月26日>

一般1800円(1600円)、大学生1200円(1000円)、

高校生700円(500円)

* ()内は団体20名以上。中学生以下、障害者の方とその

介護者1名は無料(要証明)。

* キャンパスメンバーズ(含教員)は学生証または教職員証を

ご提示いただくと、各種当日通常料金より500円引きとなり

ます。

【庭園のみ開館期間】

<3月26日～4月11日><5月28日～6月16日>

一般300円、大学生150円

* 高校生以下および満18歳未満、満70歳以上無料、障害者

とその介護者1名は無料(要証明)。

* キャンパスメンバーズ(含教員)は学生証または教職員証を

ご提示いただくと、無料となります。

* 有料(一般のみ)にてご入館の方には、庭園ガイド冊子がつ

きます。

【名品ギャラリー】<6月18日～9月8日>

一般700円、大学生350円

* 高校生以下および満18歳未満、満70歳以上無料、障害者

とその介護者1名は無料(要証明)。

* キャンパスメンバーズ(含教職員)は学生証または教職員証

をご提示いただくと、無料となります。

【休館日】月曜日(ただし、4月29日(月・祝)、5月6日(月・休)は開館、5月7日(火)は休館)、4月12日(金)

アクセス

JR=京都駅下車、市バスD2のりばより206・208号系統にて博物館三十三間堂下車すぐ

プリンスラインバス京都駅八条口のりばより京都女子大学前行にて東山七条下車、徒歩1分

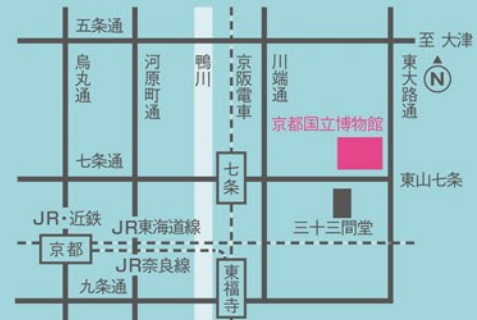
近鉄電車=近鉄丹波橋駅下車、京阪電車丹波橋駅から出町柳方面行にて七条駅下車、東へ徒歩7分

京阪電車=七条駅下車、東へ徒歩7分

阪急電車=京都河原町駅下車、京阪電車祇園四条駅から大阪方面行きにて七条駅下車、東へ徒歩7分

駐車場は有料となっております。ご来館の際は、公共交通機関をご利用ください。

*「博物館だより」を郵送ご希望の方は、返信用封筒(角2封筒は120円、長3封筒は94円)切手貼付、宛名明記を同封して、当館企画室までお申し込みください。



〒605-0931 京都市東山区茶屋町527

TEL. 075-525-2473 (テレホンサービス)

発行日 令和6年4月1日 デザイン 谷なつ子

編集・発行 京都国立博物館 印刷 岡村印刷工業株式会社

京都国立博物館
KYOTO NATIONAL MUSEUM

